

## 亀のこ山の特殊地下壕

平成二〇年から二一年にかけて鎌倉市は、亀のこ山北側道路下に特殊地下壕があるか調査を行いました。特殊地下壕と言われるほら穴は全国各地にありその多くは太平洋戦争中に日本軍兵士や学生などが動員されて掘った穴だそうです。

神奈川県にその数が多いのは、空襲を避ける為の地下工場や地下倉庫も造られました。関東では九十九里浜と相模湾から連合軍が上陸すると軍上層部が予想して本土決戦に備え迎え撃つ為の洞窟陣地を沿岸や沿道に数多く造ったからだそうです。その計画や穴掘りに従事した方たちの手記からその事を知ることができます。亀のこ山の特殊地下壕も洞窟陣地の一部と考えられます。

戦時中亀のこ山周辺に住んでいた方達の話によると、掘っていたのは海軍兵で東北出身の方が多く、地下壕の出入り口はいくつかあって一つはトラックが入れる位大きかったそうです。また戦後に復員した方から、当時の亀のこ山に機銃の台座らしきものがいくつも造られていたので驚いたという話も聞きました。

昭和三八年頃の江ノ電分譲の造成でほとんど跡形がなくなりましたが、最近でもまだ新規の造成や建て替えて地下壕が見つかることがあります。

亀のこ山の特殊地下壕は、太平洋戦争の戦跡調査研究団体には横須賀海軍鎮守府小袋谷洞窟陣地と言われています。